

# 特集 越後加茂川夏祭り

第1回目のポスター(昭和61年)。  
尺玉60連発は大迫力でした。



加茂川河川敷を仮橋で結ぶ夏祭り会場。灯りがともる頃、多くの人が会場に集まってきます。



2km大ナイアガラは昭和63年にスタート。光が縦断する迫力の点火から、川面に映る穏やかで幻想的な光景へと変化していきます。

市街地の中心部を流れる加茂川。現在は、市民の憩いの場となっていますが、過去には幾度も氾濫を繰り返し、特に昭和44年の水害では大きな被害を受けました。その後、川幅を2倍に広げるなど抜本的な河川改修が行われました。加茂川が復興したことから、地域おこしと活性化を目的に、市民総参加の夏祭り」をコンセプトとして昭和61年「越後加茂川夏祭り」が誕生しました。

記念すべき第1回目は今年から29年前の昭和61年8月15日(金)に「かも夏まつり」と称して華々しく開催されました。第2回目からは、名称を現在の「越後加茂川夏祭り」と改め、加茂川を舞台とした祭りとして定着するようになりました。

大ナイアガラは、第3回目です。初めて実施しました。8つの橋を結び、目の前を流れる光のシャワーが川面に映る姿はとても幻想的です。

市民の会」を開催し、協議の結果この年から実施日を8月14日と固定することになりました。



加茂川夕日コンサートでは、毎年さまざまなアーティストが河川敷の屋外ステージで歌やダンスを披露。



目前で大迫力の花火を観られるのは越後加茂川夏祭りの魅力。

打ち上げ花火、ナイアガラ花火、噴水花火等、色々な花火を目の前で楽しめるのがこの夏祭りの特徴。点火前のカウントダウンは会場内が一つになって盛り上がる瞬間です。

大盆踊り大会、加茂川夕日コンサートや桃釣り大会、灯ろう流しなどのイベントは、加茂商工会議所青年部、(二社)加茂青年会議所が計画し、当日の運営も、お盆休みを返上してがんばっています。その他にも市民、商工会議所会員事業所をはじめ、たくさんの方々の力で越後加茂川夏祭りは支えられています。

近年では市外、県外からも多くなっています。加茂の夏を代表するイベントとして、地域全体で作られています。

## 夏祭りを

## もっと楽しむポイント

★ 屋のイベントの一番人気は「ワキウキ桃釣り大会」。開始前から長蛇の列が…。なかなか釣れない大きな桃に、大人も本気になっちゃいます。



★ お腹が空いたら「おいしいほ広場」へ。やさしそは、カキ氷、etc. 毎年、おいしいモノがずらりと並び、お腹も満足。



★ 天盆踊り大会は、飛び入り参加も大歓迎。ゆつたりとしたリズムの「一加茂松坂」ですが、腕を上げ続けるので、気になります。二の腕の引き締る効果も…?



★ 花火大会のヒーポイント、メイン会場(諏訪橋・栄橋間)の右側。観覧スペースもありません。

★ ナイアガラは河川敷の上から見るとおもしろい。加茂川の上流・下流にむかって走る光の様子が良く見えます。



祭りのクライマックスに打ち上げられる2尺玉。上空50mで開く大輪の花は色、音、形で魅了してくれます。